

2025年3月期 第2四半期 決算補足資料

株式会社イノベーション
(東証グロース市場：3970)

2024年11月11日

1. 2025年3月期2Q 決算概要
2. オンラインメディア事業
3. ITソリューション事業
4. 金融プラットフォーム事業
5. VCファンド事業
6. 成長戦略
7. Appendix
8. 業績予想・配当

1. 2025年3月期2Q 決算概要

2025年3月期2Q 業績サマリ

オンラインメディア事業及び金融プラットフォーム事業において売上高が堅調に推移したが、広告単価、顧客獲得単価の高止まりやマーケティングへ積極的に投資した結果、前年同期比で増収減益となった。

単位（百万円）

	FY24/3 2Q連結	FY25/3 2Q連結	前年同期増減	前年同期比（％）
売上高	2,110	2,591	481	22.8%
営業利益	231	185	△45	△19.6%
経常利益	234	181	△53	△22.7%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	98	23	△113	△82.8%

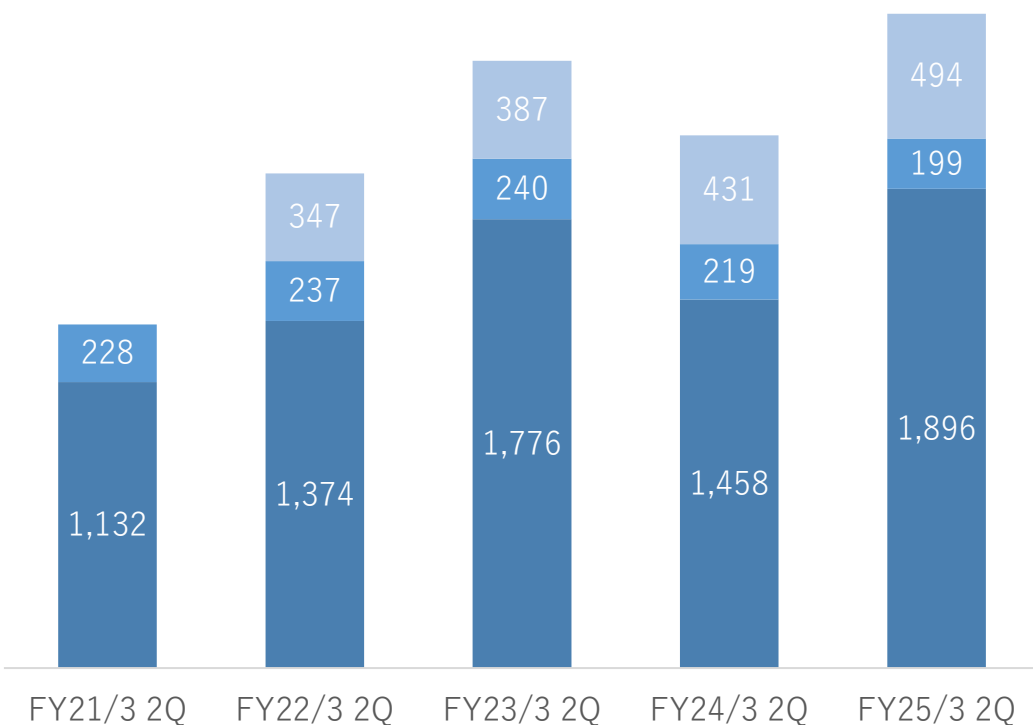
売上高/営業利益の推移

主力のオンラインメディア事業における集客コストの増加、金融プラットフォーム事業におけるデジタルマーケティングへの投資等により、前年同期比で増収減益となる。要修正

- セグメント別売上高

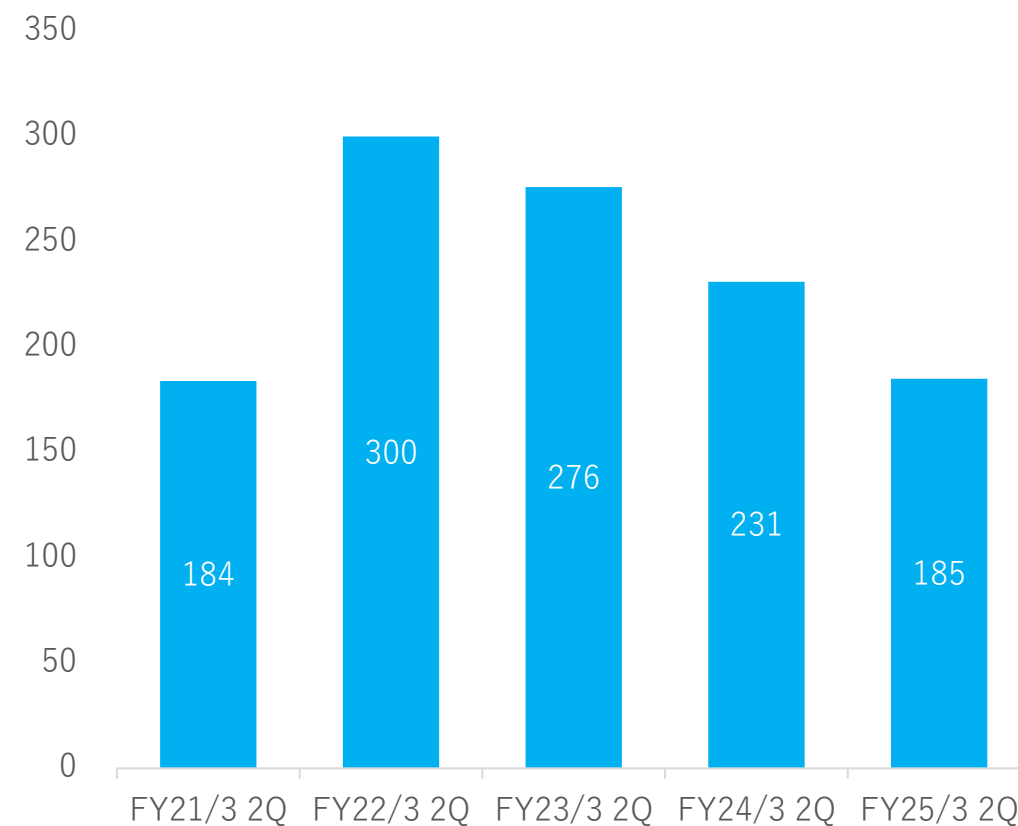
単位：百万円

- オンラインメディア事業
- ITソリューション事業
- 金融プラットフォーム事業



- 連結営業利益

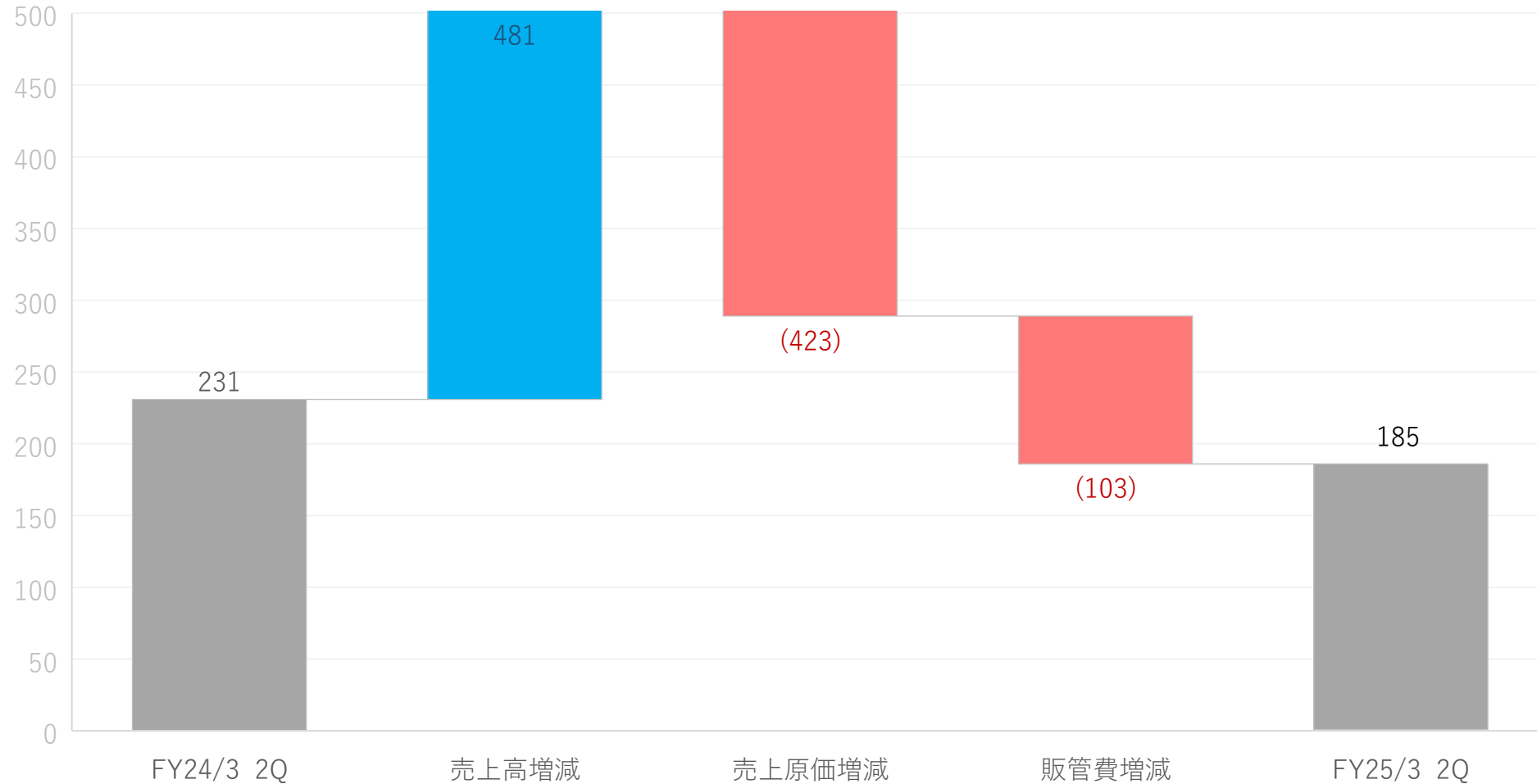
単位：百万円



売上高はITトレンドとIFAの拡大により増加、売上原価は広告単価、顧客獲得単価が高止まりしたことにより増加。

(単位:百万円)

※利益の増加要因を「+」、減少要因を「-」で表示



2025年3月期2Q B/Sサマリ

安定した財務体質の維持を図る一方で、今後の成長に必要な投資については積極的に取り組む。

単位（百万円）

	FY24/3 2Q連結	FY25/3 2Q連結	増減
流動資産	3,193	4,014	+25.7%
固定資産	791	445	-43.7%
資産合計	3,984	4,459	+11.9%
流動負債	609	837	+37.4%
固定負債	25	180	+617.7%
負債合計	634	1,017	+60.5%
純資産合計	3,350	3,442	+2.74%
自己資本比率	82.9%	75.9%	-

セグメント構成

事業

概要

オンラインメディア事業

ITトレンド

B2B商材のマッチングプラットフォーム

ITトレンド EXPO

B2B特化のイベントプラットフォーム

bizplay

B2B特化の動画プラットフォーム

List Finder MA

マーケティング支援クラウド

ITソリューション事業

Sales Doc.

営業支援クラウド

Cocripo

オンラインセミナー支援クラウド

金融プラットフォーム事業

Innovation - IFA - Consulting

IFAサービス（金融商品仲介業）

IMAP
Innovation M&A Partners

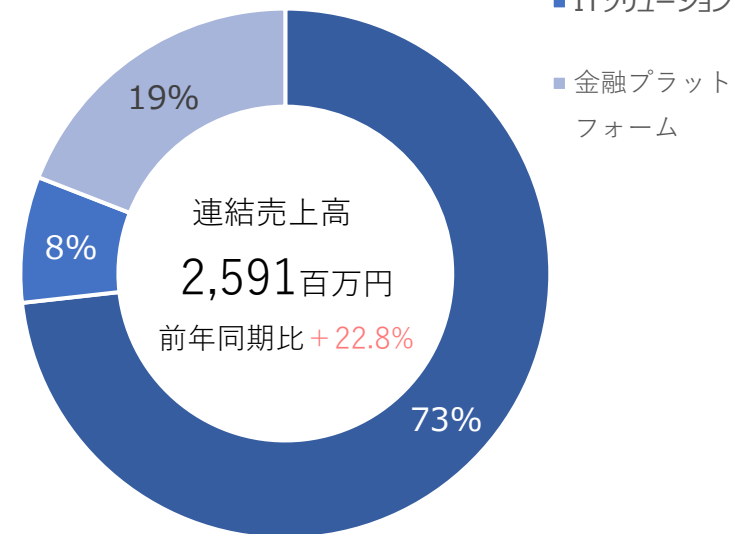
事業承継M&Aサービス

VCファンド事業

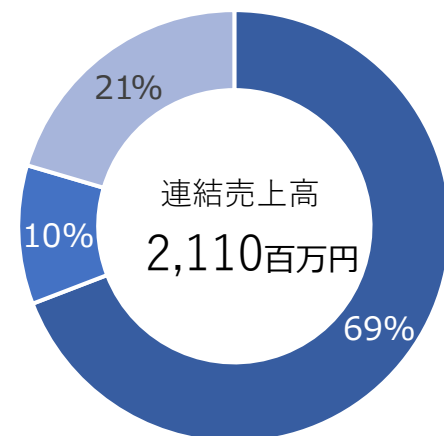
IHVC
INNOVATION HAYATE V Capital

CVCによる投資事業

FY25/3 2Q累計 売上高構成



(参考) FY24/3 2Q累計 売上高構成



2. オンラインメディア事業

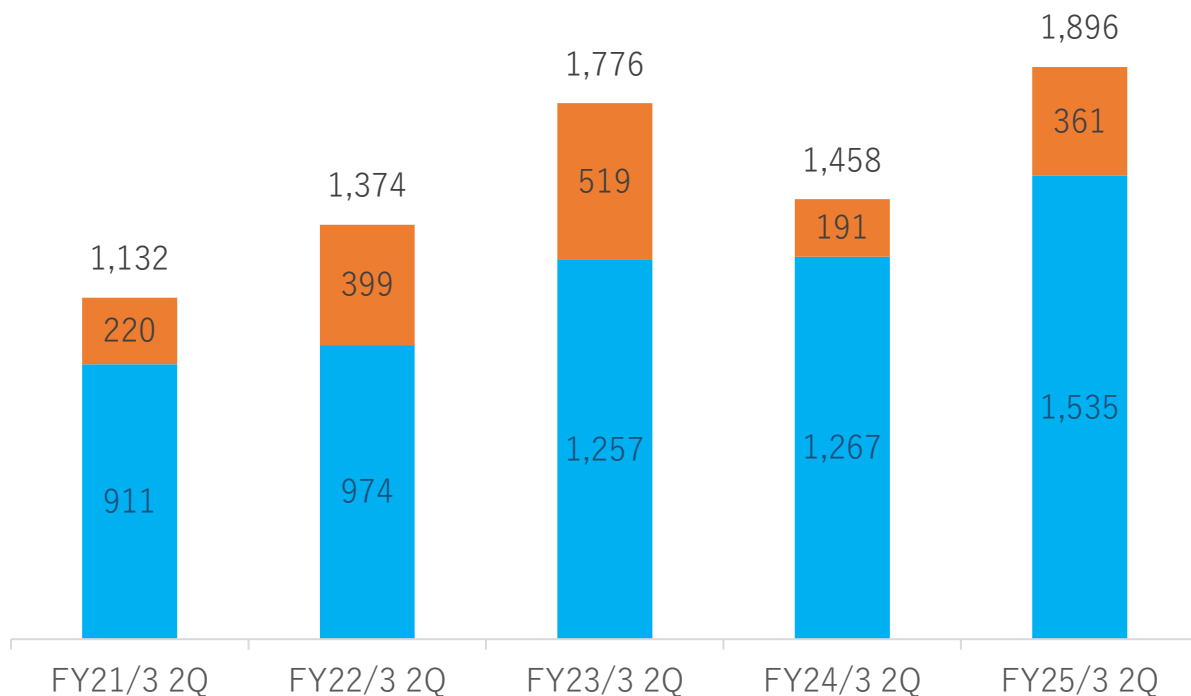
オンラインメディア事業は堅実に成長し、セグメント全体として前年を上回ることとなった。

- ・ITトレンドはマーケティングへの積極投資により前年比 売上高121%
- ・日経BPやbizplayなど他サービスも、大手ベンダー広告費の回復などにより堅調に推移
- ・ITトレンドEXPOは、9月に開催し盛況となった（次回は2025年3月開催予定）

- オンラインメディア事業の売上高 推移

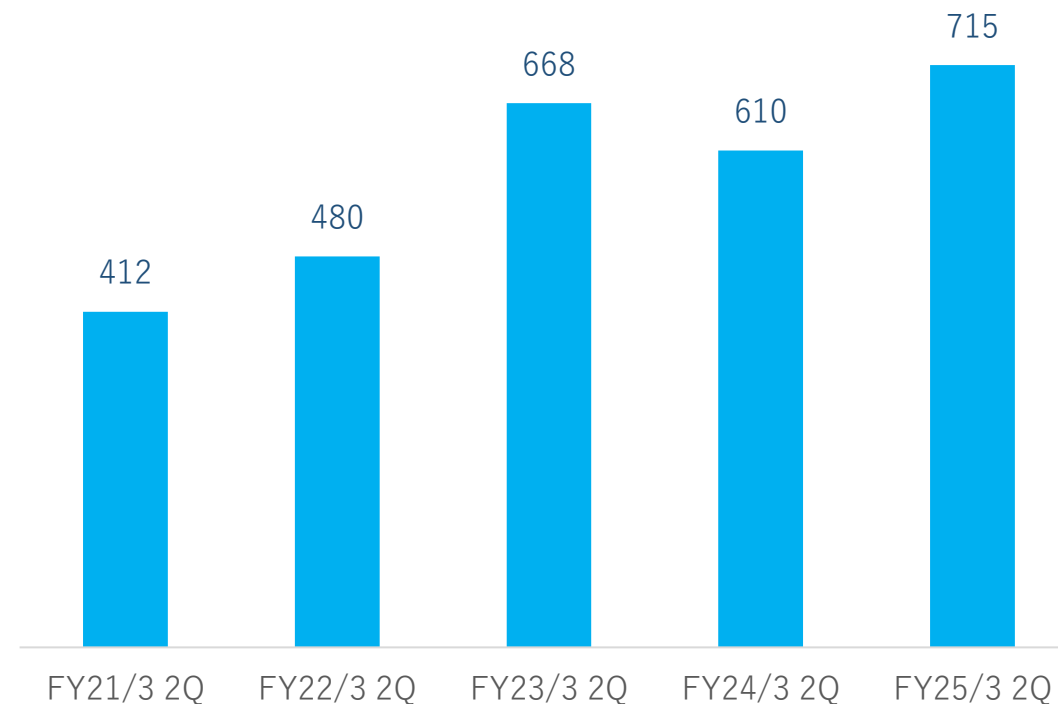
単位：百万円

■ ITトレンド ■ ITトレンド以外(1)



- オンラインメディア事業のセグメント利益 推移

単位：百万円



注: (1) : 内訳は、bizpl,ay、ITトレンドEXPO、その他。

2024年9月に開催したITトレンドEXPOは、B2B商材「見本市」デジタル版として27,000名が来場登録、611製品の出展。来場者は、各業界のビジネスリーダーや著名人のセッションをライブ配信して、B2Bにおけるトレンドや最新情報の取得可能。今期より集客方法に工夫を凝らし、セグメント利益の確保を実現。今期は年2回の開催を計画（前期は1回のみ）



来場者

(来場登録)



トレンドや
最新情報の取得



ブース枠/
セッション枠の提供



ブース枠/
セッション枠の料金

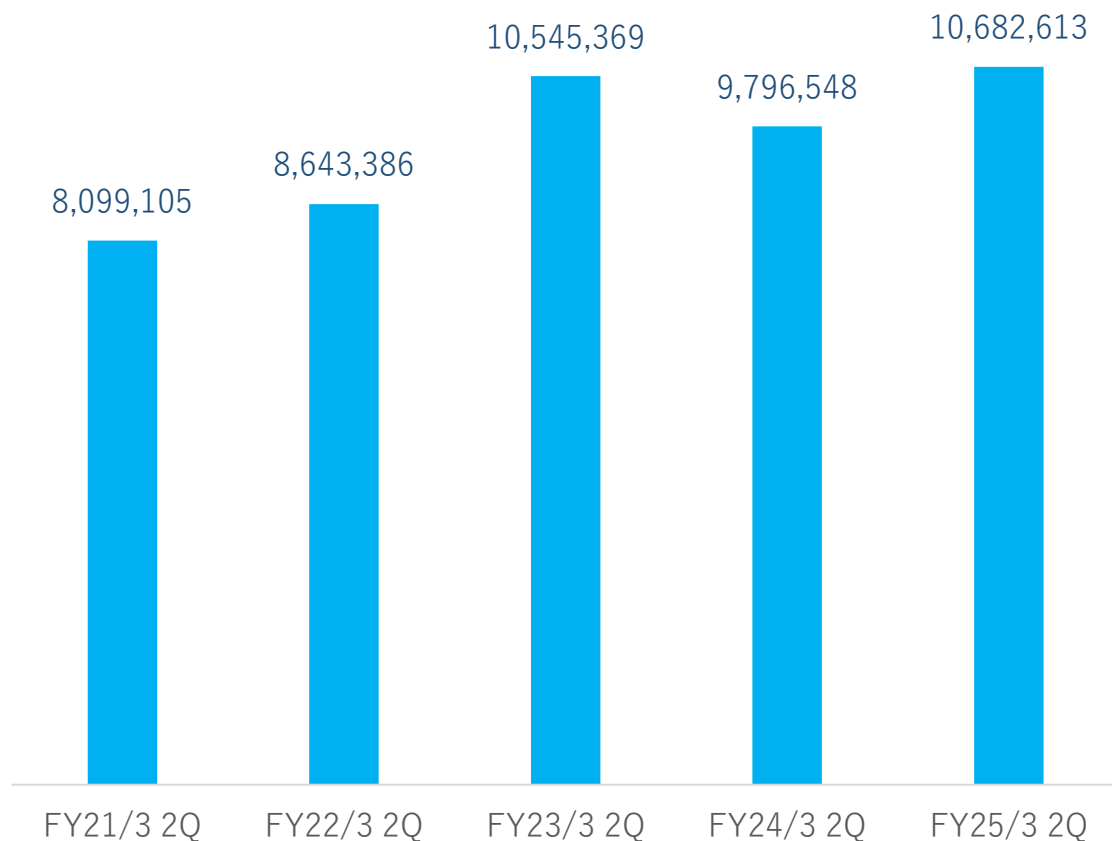


商材販売企業

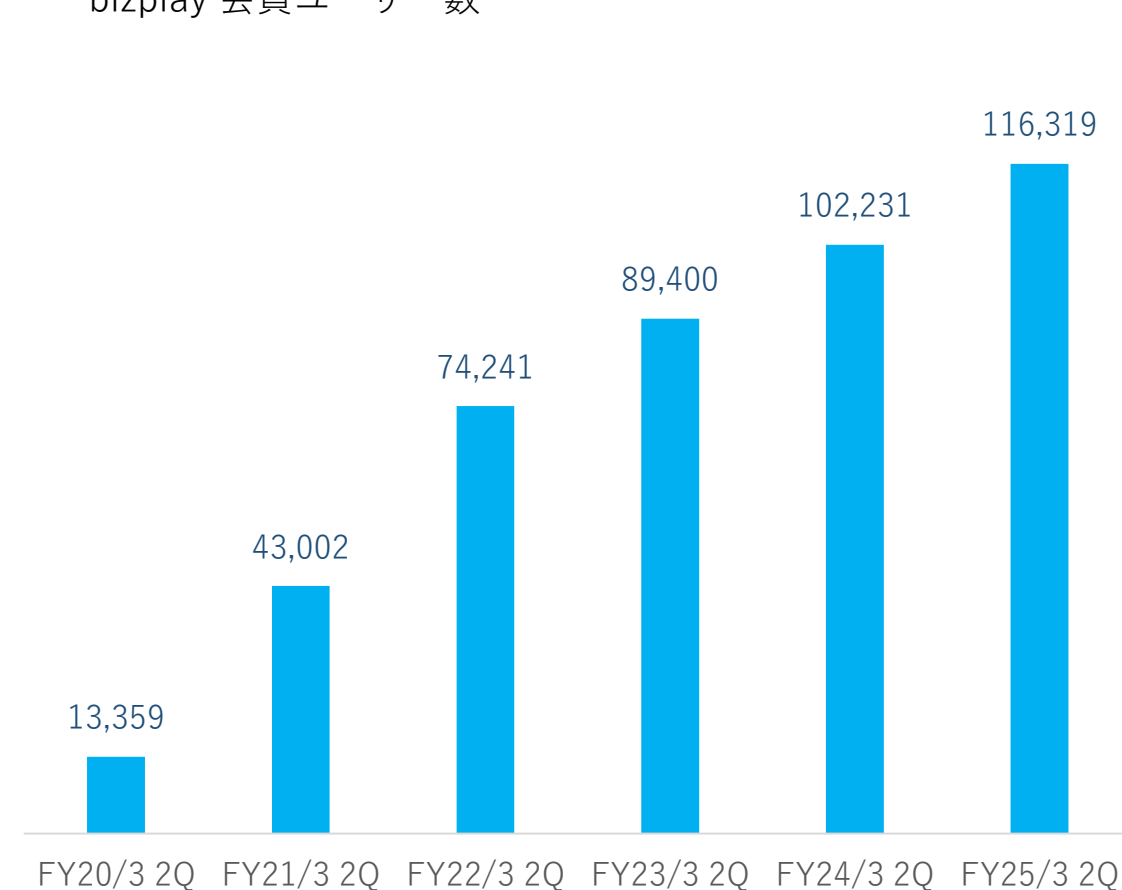
ITトレンドにおいて来訪者数が1Qに引き続き2Q比較において過去最大。また動画メディアであるbizplay会員ユーザー数も堅調に推移。

- 来訪者（ユーザー）数

単位：UU



- bizplay 会員ユーザー数

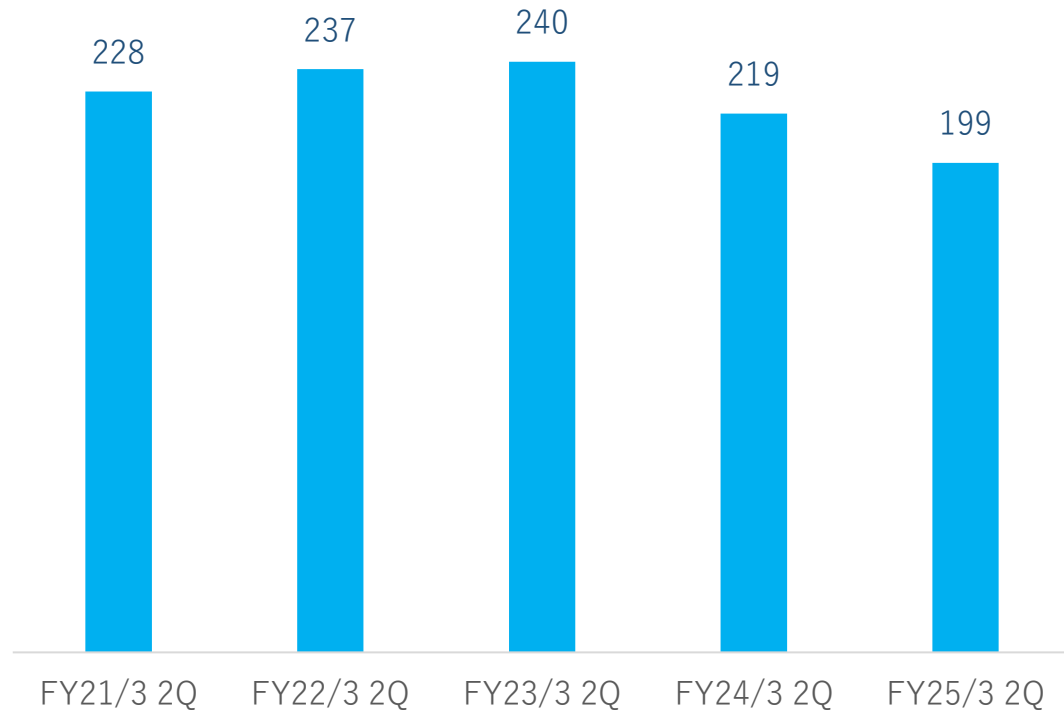


3. ITソリューション事業

「List Finder」アカウント数の微減ではあるが、コストコントロールが順調に進み前年度対比にて減収増益となった。

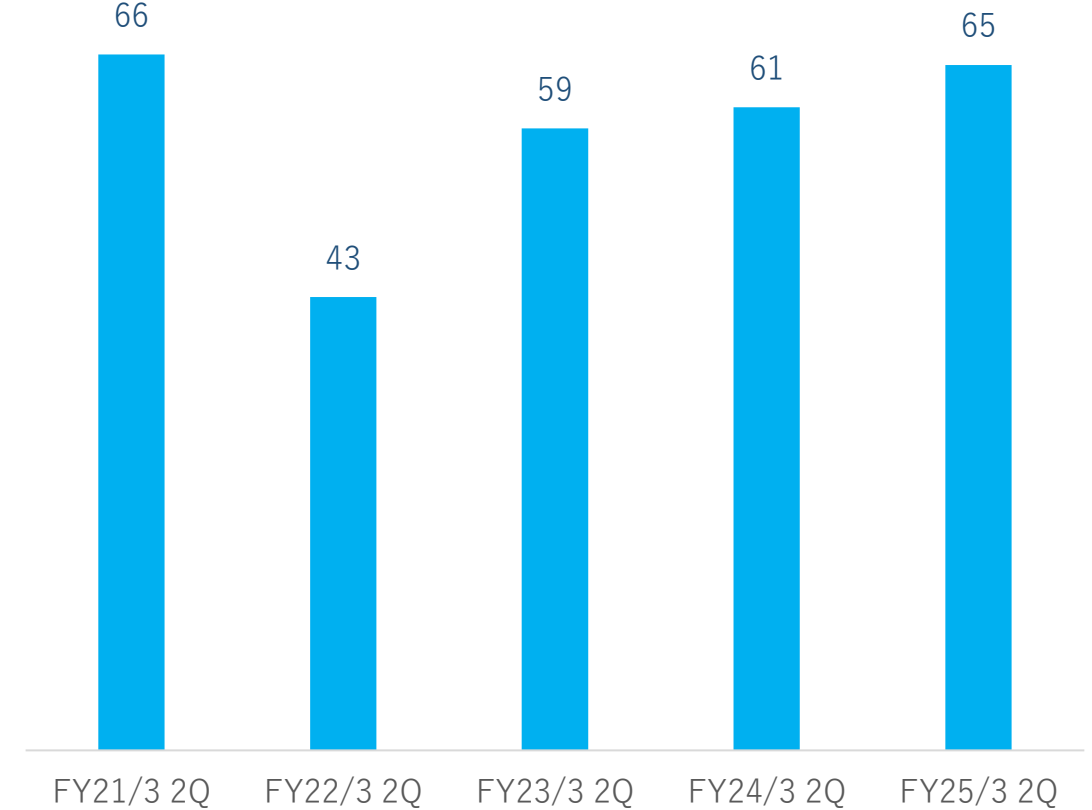
- ITソリューション事業の売上高 推移

単位：百万円



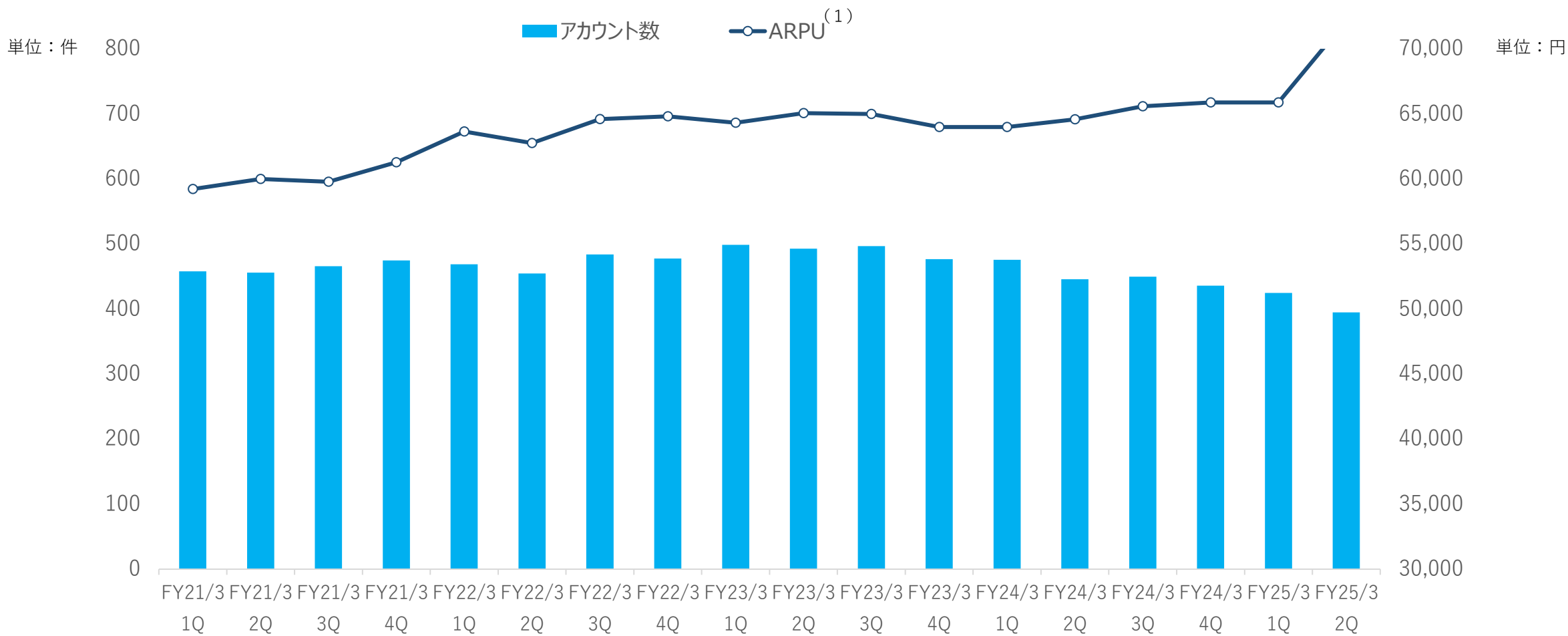
- ITソリューション事業のセグメント利益 推移

単位：百万円



List Finder導入アカウント数

2020年3月期にアカウント数拡大戦略から収益力強化に向けた戦略に転換。アカウント数は微減となっているもののARPU（平均請求金額）水準は微増できており、引き続き運営効率向上と価格改定による収益性の向上に努める。



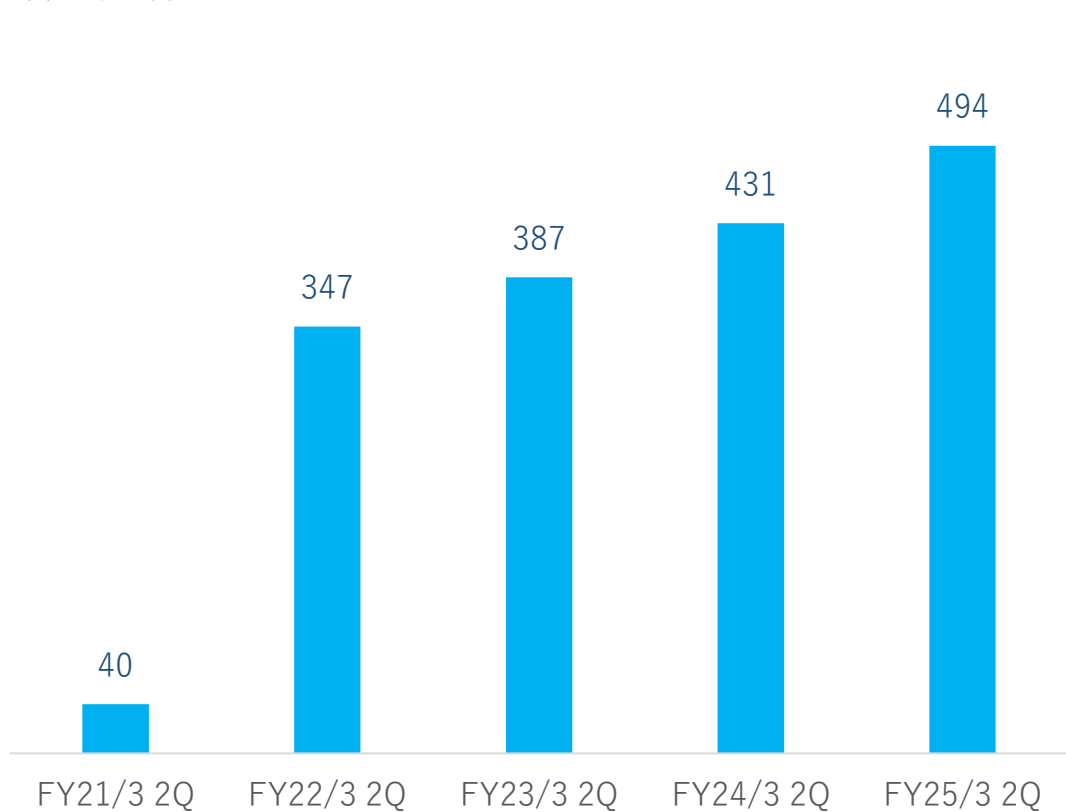
注: (1) : List finderのAverage Revenue Per User。各四半期末のMRR（対象月末時点における継続課金企業に係る月額料金の合計）を同時期の有料課金ユーザー企業数で除して算出（代理店契約を除く）。

4. 金融プラットフォーム事業

主力であるIFA事業において、デジタルマーケティングを併用した営業が奏功し預かり資産残高が増加（前年比141.8%）。しかしながらデジタルマーケティングへの更なる積極的な投資により、前年度対比にて増収減益となった。

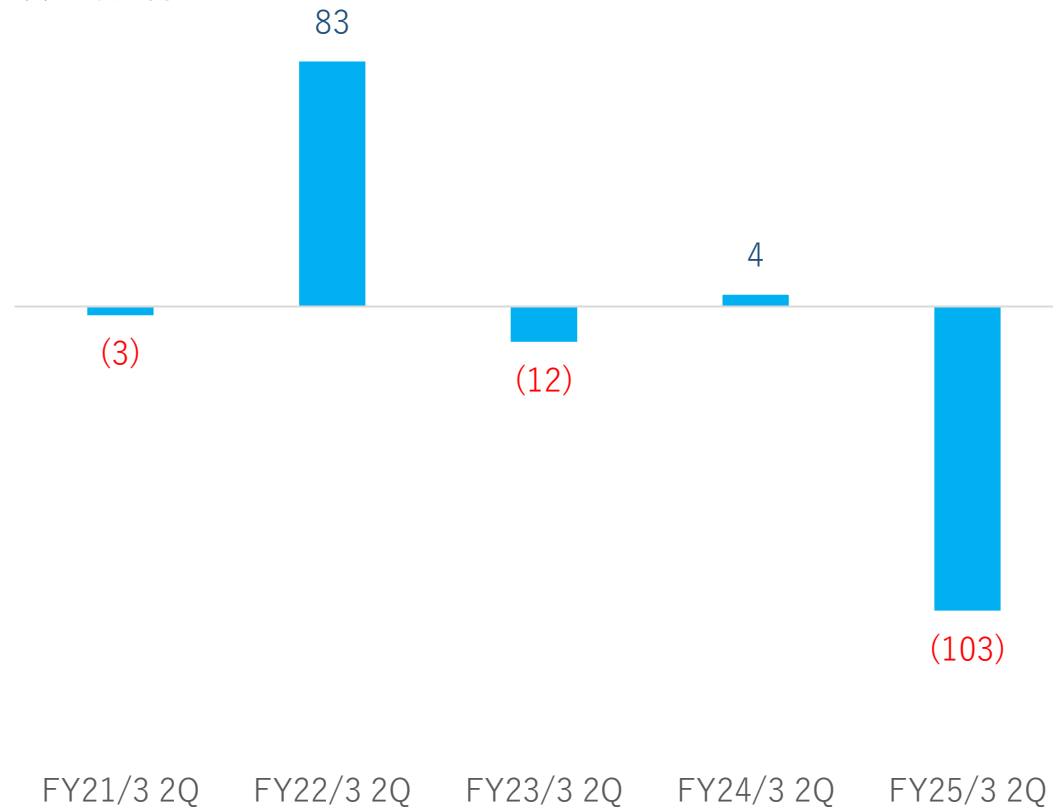
-金融プラットフォーム事業の売上高 推移⁽¹⁾

単位：百万円



-金融プラットフォーム事業のセグメント利益 推移⁽²⁾

単位：百万円



注: (1), (2) : FY21の売上高、セグメント利益については参考値であり、会計上はFY21 4QにIFA子会社を連結子会社化したタイミングで通期分を一括計上。

5. VCファンド事業

GVA TECH株式会社（ジーヴァテック株式会社）

GVA TECH株式会社は、業務プロセスを変えずに法務案件の受付管理とナレッジマネジメントを実現する法務管理、AI契約書審査、AIによる秘密保持契約書チェックサービスなどの全社を支える法務OS「OLGA（オルガ）」⁽¹⁾を提供しているスタートアップです。

INNOVATION HAYATE V Capitalでは2023年6月に初回出資を実施し、以降弊社としても社内での利用と法務DXを進めて参りました。法務部門の「働くを変える」を実現できる企業であり、今後の更なる拡大戦略を支えるべく2024年6月に**追加出資**を実施いたしました。



（ご参考）

2023年11月27日にGVA TECH株式会社 代表取締役 山本氏のインタビュー記事を公開いたしました。

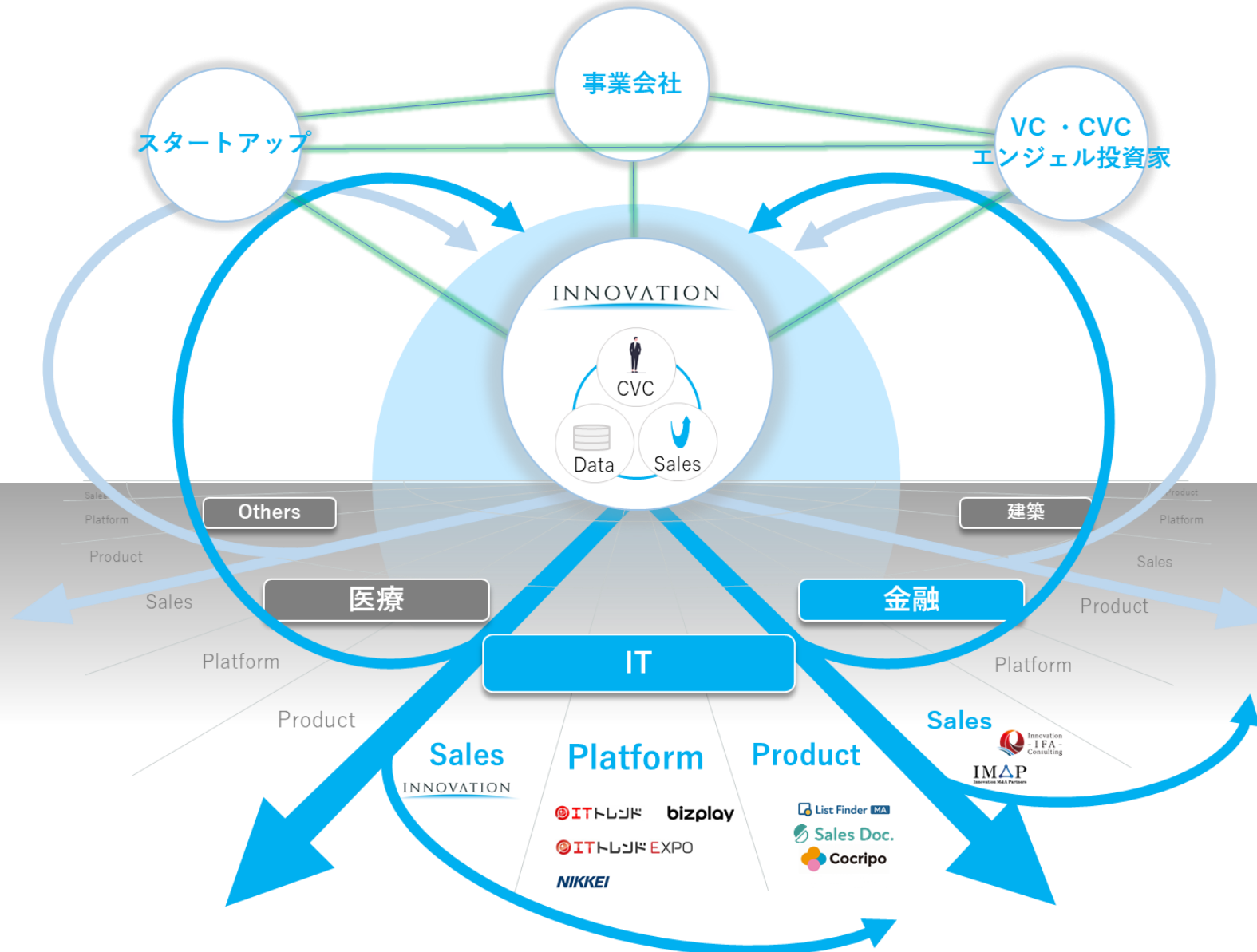
- ・タイトル：時代を見通し、足場を広げるリーガルテック。出資者から見たGVA TECHの強みとは
- ・URL：https://cvc.innovation.co.jp/interview_04/

6. 成長戦略

- 中期コンセプト
- 既存事業領域における成長戦略
- 新規事業領域における投資戦略
- ファイナンスによる資金調達の充当状況

中期コンセプト

『INNOVATION Ecosystemを確立し、連続・非連続領域での成長を実現する。』。



オンラインメディア事業

- 商材購入検討者（ユーザー）のさらなる拡大のためのデジタルマーケティング強化
- 商材販売IT企業（顧客・広告主）への営業・サポート強化
- ITトレンドEXPO、カンファレンスの実施増加、及び効率的な運用

ITソリューション事業

- サポート強化によるARPU拡大
- AIサポート機能など新機能による顧客への価値提供
- M&Aやアライアンス

金融プラットフォーム事業

- IFA事業のデジタルマーケティングのさらなる推進のためオンラインメディア事業との協業
- 採用育成の強化
- 独自商品の開発

各事業の連携を再構築し、イノベーショングループとして最大化を図る

マッチングプラットフォームからデータプラットフォームへ

1. 自社保有のトラフィックデータの収集・蓄積・分析を行う体制の構築 2025/3月期
→計画通り進捗
2. エンジニアの採用、教育、リソースの最適配分 2025/3月期
→計画通り進捗
3. マネタイゼーションの検討 2025/3月期
→2Qより研究開発開始済み
4. 新規領域、新規事業推進 2026/3月期
→2Qより新規事業検討開始済み

ファイナンスによる資金調達の充当状況

第7回-第9回新株予約権による調達資金の充当状況。

具体的な用途	予定金額（百万円）	実施金額（百万円）
IHVCを通じた投資資金	約10.0億円	2023/3月期 1.8億円
		2024/3月期 1.6億円
		2025/3月期 0.6億円
当社によるM&Aに伴う資金	約2.0億円	2023/3月期 0.3億円
		2025/3月期 0.5億円
設備投資資金	約2.5億円	—
マーケティング費用及び人材採用関連費用	約1.0億円	—

第7回新株予約権の行使状況は以下の通りとなります。

2023/3月期 199百万円 2024/3月期 171百万円 2025/3月期 39百万円 (2024/9/30時点)

合計 410百万円 (2024/9/30時点)

※ターゲット・イシュー・プログラムにより、株式希薄化を抑えながらファイナンスを実施 (1)

7. Appendix

■ グループ企業の完全子会社化

グループ経営の効率を目的として、株式会社Innovation IFA Consultingの株式を個人株主株主より追加取得し、2024年8月30日をもって完全子会社化。

■ 自己株式取得について

資本効率の向上および経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の実施ならびに株主への一層の利益還元を行うため、60,000株の自己株式取得を実施。

取得期間：2024年8月21日から2024年10月9日

取得価額総額：76,135,100円

8. 業績予想、配当

2025年3月期 業績予想

単位（百万円）

	FY24/3 実績	FY25/3 計画	対前期 増減	増減率
売上高	4,813	5,944	+ 1,131	+ 23.5%
営業利益	399	510	+ 110	+27.7%
経常利益	404	508	+ 104	+ 25.9%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	244	300	+ 55	+22.7%
配当（予想）	40.00円	40.00円		

会社名	株式会社イノベーション
所在地	東京都渋谷区渋谷三丁目10番13号 TOKYU REIT 渋谷R ビル3F
設立日	2000年12月14日
代表者	富田 直人
従業員数	158名（連結）※2024年9月末現在
資本金	1,241,236千円 ※2024年9月末現在
子会社	株式会社Innovation & Co. 株式会社Innovation X Solutions 株式会社Innovation IFA Consulting 株式会社Innovation M&A Partners INNOVATION HAYATE V Capital 投資事業有限責任組合

本資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を確認された上で、ご利用ください。業界等における記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させて頂くものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。